

# 平成24年度 病児保育に関するニーズ調査報告

男女共同参画推進室では、「性別、年齢、国籍を問わず、ワーク・ライフ・バランスに配慮しながら誰でも学びやすく働きやすい環境づくり」を目指すために、本学教職員を対象に「病児保育」についてアンケート調査を実施しました。その結果の一部をご紹介します。

## 病児保育は必要

とても必要である 627 人 (48.6%)、まあ必要である 485 人 (37.7%) であり、8 割以上が必要であると考えていた。

## 病児保育の半数は 1 回 2,000 円

1 回 2,000 円が 675 人 (52.3%)、2 時間未満 1,000 円 (2 時間以上 1 時間毎 500 円加算) 315 人 (24.4%) が多かった。

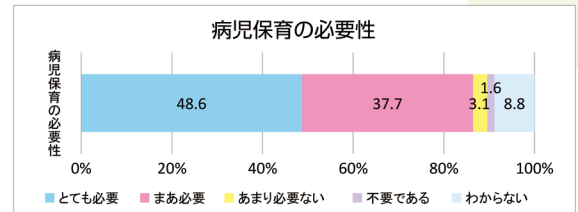
## 緊急連絡を受けた半数は自分か配偶者が対応

子どもがいる 389 人で緊急連絡を受けた人は 306 人 (75.2%) であった。

その対応は 自分が仕事を休む 195 人  
配偶者に頼む 187 人  
同居していない親に頼む 92 人  
同居の親・家族に頼む 75 人【複数回答】

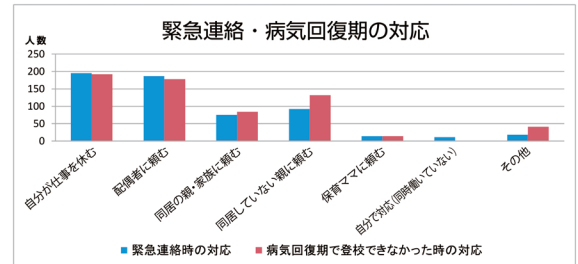
## 病児保育利用の希望は約 7 割

利用したい人は 867 人 (67.2%) であった。



## 病児保育の設置場所は本町地区が多かった

本町地区 980 人 (76.0%)、文京地区 291 人 (22.6%)  
学園町地区 86 人 (6.7%) であった。



## 対象の属性 対象 2,498 人、回収数 1,290 部、回収率 51.5%

【性別・年齢】 男性 496 人 (38.4%)、女性 793 人 (61.5%)

30 歳未満 247 人 (19.1%)、30~39 歳 422 人 (32.7%)、40~49 歳 321 人 (24.9%)  
50~59 歳 241 人 (18.7%)、60 歳以上 56 人 (4.3%)、無回答 3 人 (0.2%)

【所属】 事務局 183 人 (14.2%)、人文学部 24 人 (1.9%)、教育学部 101 人 (7.8%)  
医学研究科 162 人 (12.6%)、保健学研究科 43 人 (3.3%)、医学部附属病院 641 人 (49.7%)  
理工学研究科 50 人 (3.9%)、農業生命科学部 6 人 (0.5%)、その他 79 人 (6.1%)  
無回答 1 人 (0.1%)

【従業上の地位別】

大学教員 285 人 (22.1%)、附属学校教員 66 人 (5.1%)、正職員 631 人 (48.9%)、契約職員 79 人 (6.1%)  
パートタイム 213 人 (16.5%)、その他 15 人 (1.2%)、無回答 1 人 (0.1%)

【子どもの有無】

子どもがいる 407 人 (31.6%) で、  
子どもの年齢は、保育園・幼稚園児 228 人 (17.7%)、小学生 (低学年) 109 人 (8.4%)  
小学生 (高学年) 110 人 (7.7%)、中学生 98 人 (6.7%) 【複数回答】

## さらなる職場・研究・修学環境の整備にむけて

今回の病児保育に関するニーズ調査は、女性研究者からの要望を受けて行ったものです。子育て期間中の世代を中心に予想を超える要望があることがわかりました。しかし、本学が病児保育を実施するためには、クリアしなければならない多くの課題があります。今後は、それらの課題を精査しながら、実現可能かどうかを検討したいと考えています。

一方、弘前市内には病児病後児保育が2カ所あり、また24時間の病児シッター施設があります。

詳しくは「さがす！みつける！あなたのワーク・ライフ・バランス」をご活用ください。

男女共同参画推進室は、今後も、本学教職員や学生のための職場・研究・修学環境の整備を関係部局等と連携を取りながら進めていきます。

[http://www.equ.hirosaki-u.ac.jp/equality/publication/data/H25\\_support\\_guidebook.pdf](http://www.equ.hirosaki-u.ac.jp/equality/publication/data/H25_support_guidebook.pdf)